

公益社団法人日本技術士会 CPD行事实施報告書

開始日時	平成28年3月26日(土)	13時30分
終了日時	平成28年3月26日(土)	15時30分
名称	第34回CPD研修講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉市ビジネス支援センター きぼーる 15階 多目的室(千葉市中央区中央4-5-1)	
行事内容	主テーマ:「企業への支援事例」 ①「地域情報化計画、防災・減災、復興支援にかかわって」 秋田義一氏(技術士 情報工学部門)、本部防災支援委員会委員、千葉県支部幹事 ②「ものづくり補助金申請支援、QMS構築支援について」 熊田 成人氏(技術士 経営工学部門) 熊田技術士事務所代表 ③「研究会等への参加による仕事の取得」 中野 昇 氏(技術士 機械部門) 中野技術士事務所所長 ④「炭鉱技術の海外移転事業の講師として」 水野 正勝 氏(技術士 資源工学部門) 石炭技術会理事長	
参加人数	34名	

第34回CPD研修講演会は、「企業への支援事例」をテーマに企業に対して支援業務を実施した技術士の経験とアドバイスを提供し、実務の参考として頂く事を目的に開催した。今後、支援業務を目指している方々に対する経験者のノウハウが大いに参考になったと思う。

講演①ではフリーターとして声がかかった理由は、技術と経験、話し方、聴き方、文書作成を学んだ事、大事なことは人間関係であると結んだ。

講演②では中小企業との出会いは、ほぼ人脈、企業の希望はさまざまであり柔軟な対応の必要性品質マネジメントシステムは会社をよくするための支援はまだまだ余地があるとまとめた。

講演③では人脈の構築が重要、技術的な信頼、ホームページの作成に関して構築時にランタルサーパーの選択が重要であると結論を述べた。

講演④では炭鉱技術の講師として、自然を相手とするため刻々変化する現場状況の把握が大事、教育は繰り返し的大事、事故は単一原因では起きないなど経験からのアドバイスがあった。

